臨床検体使用に関するお知らせ

『研究課題名　周産期母子医療センターネットワークデータベース 』

【研究の背景および目的】

近年わが国の総出生数は減少していますが、低出生体重児の出生数は上昇し、結果的にハイリスク児の出生率は増加しています。一方で、新生児死亡率は減少を続けており、新生児医療技術が日々向上していることを示しています。しかし、低出生体重児の死亡率や疾患の合併症率が充分に低くなったとは言えず、さらに予後を向上させる余地が残されています。

そこで、東邦大学医療センター大森病院　新生児科では、NRN：neonatal research network に参加し、低出生体重児のデータ登録を進めたいと考えています。

この研究は、全国の総合周産期母子医療センターに入院したハイリスク児のアウトカムを分析することで、予後の改善あるいは悪化に繋がる診療行為を特定し、このような解析結果を各施設へフィードバックにより診療の標準化を行うことを目的として立案されています。

この研究で得られる成果は、全国のハイリスク児の予後を改善させることにつながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2015 年 1 月以降、東邦大学医療センター大森病院総合周産期母子医療センターにおいて入院加療された低出生体重(出生体重 1,500g 以下) または早期産(在胎 32 週未満)の症例を対象とします。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報や病理解剖結果を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院
新生児科（総合周産期母子医療センター）
職位・氏名 ： 助教　荒井 博子
電話 03-3762-4151 内線 6665(新生児科医局)